IT組織能力強化のご支援



｜IT組織（本サービスの対象）｜
●「情報・通信」の業種に分類される企業 ●ユーザー企業の情報システム部門

行政や企業（顧客・自社）のデジタルトランスフォーメーションを担っていくIT組織の重要性がますます叫ばれておりますが、実際のところ、このようなIT組織では「年々高まる顧客の期待値」、「人材の質・量の不足」など数多くの課題を抱えられております。また、これらの重要な課題に対して抜本的な見直しがなされることもないまま、眼前の業務遂行に手一杯となっている状況が多く見られます。

三菱総研では、企業の「IT組織能力強化」を重要な社会課題として捉えており、貴社の組織開発、人材開発における中長期的・継続的なパートナーとしてのご支援させていただくことが可能です。

IT組織の課題

- 顧客業務理解に対する要求レベルが年々高まっているが、十分に対応できていない
- IT人材の量・質ともに不足感が年々高まっている
- 外部人材の獲得が難航しており、即戦力化も難しい
- 業務の外製化率が高く、組織内部にスキル・ノウハウを蓄積・強化する機構がない
- 日々の業務に追われ、人材開発に十分なリソースを向けることができない
- 人材開発のための制度は存在するが、制度間の整合が取れておらず形骸化している
- 組織の新陳代謝が活性化せず、従業員のモチベーションが低下している

IT組織能力強化のポイント

- **人材および人材戦略を重要な経営要素として位置づける**
- **貴社が提供する「普遍的な価値」を、人材開発の仕組みと整合させる**
- **外部人材調達に頼りきりにならず、内部人材育成を基本戦略とする**
- **人材開発は自前主義に陥らない（増加する業務への対応と両立する策を模索し続ける）**
- **従業員のモチベーションを低下させる要因を客観的に分析し、対策を打つサイクルを構築する**

▪ 当社の特徴 ▪

組織開発・人材開発のパートナーとして継続的なご支援が可能です
（同一のお客様に対し10年以上ご支援した実績有）

組織開発・人材開発に関する**国の動向を踏まえた情報提供、ご提案が可能**です

プロジェクトの進め方｜標準タイプ

Phase1 6ヶ月
課題把握、方針検討

Step1 人材戦略・目標の確認	① 人材戦略、目標感の確認 ② 経営層、所管部署との議論・合意
Step2 現状把握	① 業務フローの確認、アウトプットの整理 ② 社員意識調査、人材開発・業務実態調査の実施
Step3 課題抽出	① 課題の整理・構造化 ② 課題の優先順位付け
Step4 改善策の検討	① 改善策の検討（ビジョン浸透／制度見直し／スキル見える化／研修の開発／OJT強化策、等） ② 実現可能性の確認

Phase2 6ヶ月
業務への適用

改善策の実行	● 一部部署での試行（→効果検証） ● 全ての部署への展開

PDCAサイクルの構築・運用

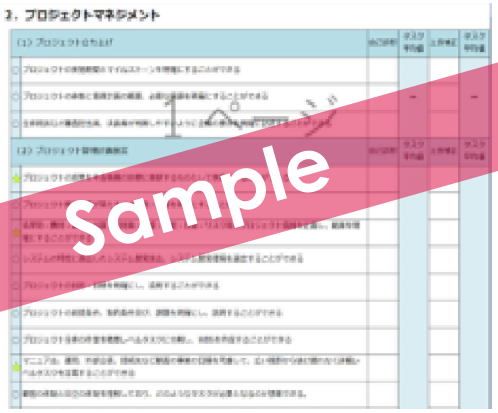
アウトプット例

課題抽出を経て、貴社の状況に沿った解決策・アウトプットをご提示いたします。

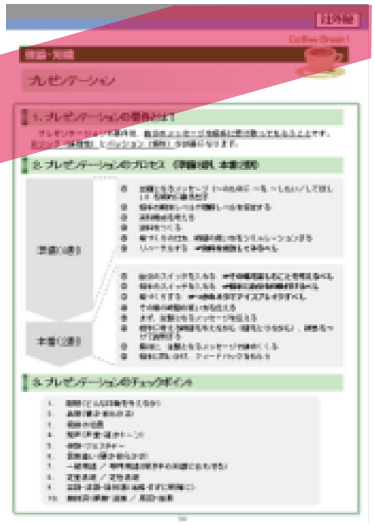
▶ マインド醸成に向けたアクションリスト



▶ 貴社版ITSS（UISS）の構築



▶ OJTガイドラインの作成・研修の開発



Sample

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所
service@ml.mri.co.jp

※無断での複写・複製・転記載及び第三者への開示を禁じます。